

茨城県で分布拡大する外来の陸産貝類について

池澤広美 (ミュージアムパーク茨城県自然博物館)

2000年代に入り、国内ではオオクビキレガイやイスパニアマイマイなどの外来の陸産貝類の報告が相次いでいる(増野, 2001; 上島ほか, 2004)。茨城県も例外ではなく、2007年にはヨーロッパ原産のマダラコウラナメクジが国内で初めて土浦市で発見されているほか(長谷川, 2007)、2004年には従来、九州地方からのみ知られていたコハクオナジマイマイが確認されている(自然保護協会, 2005)。今回、市民参加型調査を実施した結果、茨城県内におけるこれらの種の生息状況が明らかになったので報告する。

調査方法

茨城県全域におけるマダラコウラナメクジとコハクオナジマイマイの生息状況を把握するため、市民参加型調査を実施した。この調査では、新聞記事を利用して情報を収集するとともに、茨城県内の小学校や茨城県自然博物館の来館者にチラシを配布してこれらの種の生息情報を広く募った。その結果、マダラコウラナメクジについては14件(2011年)、コハクオナジマイマイについては66件(2010~2011年)の標本とデータが収集された。

ヒョウ柄のナメクジを探しています!

調査、博物館ではマダラコウラナメクジの生息情報を収集しています。もし何か情報をお持ちの方がいらっしゃれば、情報提供をお願いします。



マダラコウラナメクジの学名 *Limax maximus*

ヨーロッパ産のマダラコウラナメクジが数年前に国内では初めて、土浦市で発見されました。その後、つくば市や石岡市などで生息が確認されています。今後、分布が拡大する可能性があります。農作物への被害も懸念されています。マダラコウラナメクジは体長10 cmを超え、ヒョウ柄なので、他のナメクジにはすぐ見分けがつけます。

調査先
〒204-0022 茨城県土浦市中央1-1-1
ミュージアムパーク茨城県自然博物館 調査・資料課 池澤広美
TEL: 0297-38-2000 FAX: 0297-38-1993
E-mail: info@mpk-museum.jp

地球再発見

欧州原産広がる分布



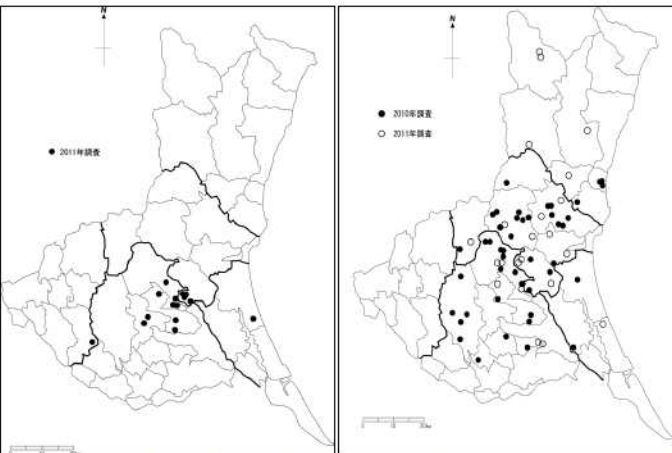
小学校に配布したマダラコウラナメクジのチラシ。

茨城県自然博物館のディスカバリープレイスにおける陸産貝類のコーナー(上)と茨城新聞に掲載された記事(2011. 5. 23)。

茨城県における分布状況

マダラコウラナメクジについては、土浦市、石岡市、かすみがうら市、小美玉市、鉾田市、常総市の6市から標本と採集データが得られ、特に石岡市南部と小美玉市南部を中心に分布が集中していることが明らかとなった。茨城県への移入経路については不明であるが、聞き取り調査では、土浦市で2000年代の初めから目撃情報があり、本種がだいぶ以前から茨城県内に定着していることが分かった。

コハクオナジマイマイについては、大子町を北限とし、石岡市、笠間市、水戸市、小美玉市、つくば市など、県央・県南地域を中心に茨城県の広い範囲で本種が生息していることが明らかになった。笠間市の菜園では、2000年代初めに本種が確認されており、その後も毎年、大発生が繰り返されている。また、2002年につくば市やかすみがうら市で、2003年に石岡市で本種が目撃されている。このことから考えると、本種は2000年代初めには茨城県内に移入され、その後、県央・県南地域を中心に分布を拡大していったと推測される。



茨城県におけるマダラコウラナメクジの分布。茨城県におけるコハクオナジマイマイの分布。

食害被害の状況

【マダラコウラナメクジ】

これまで、本種がキャットフード、落下したカキの実、インゲン豆などを食しているのが目撃されているほか、現地調査では、ヒラタケや観葉植物のウチワサボテンへの食害も確認している。



食害されたヒラタケ(2010. 12. 29, 石岡市東田中の民家)。

食害されたウチワサボテン(2010. 12. 29, 石岡市東田中の民家)。

【コハクオナジマイマイ】

笠間市、水戸市、石岡市にある菜園、小美玉市のタバコ畑、茨城町のニラ畑では、本種が大発生し、農作物を食害している例が確認されている。特に、笠間市の菜園では、アカジソ、フロッコリー、キャベツ、ネギなどの葉菜類やトマス、ナス、キュウリなどの果菜類への被害が甚大であった。

笠間市折戸の菜園で食害された農作物。

種類	食害された農作物
葉菜類	アカジソ(葉)、フロッコリー(花)、キャベツ(葉)、ネギ(茎)、フキ(葉)
根菜類	サトイモ(葉)、サツマイモ(葉)
果菜類	トマト(果実)、ナス(果実)、ズッキーニ(果実)、ピーマン(果実、葉)、キュウリ(果実、葉)、ピーマン(果実、葉)、キュウリ(果実、葉)、インゲンマメ(種、葉)、エダマメ(葉)、カボチャ(葉)、ニンジン(葉)、オクラ(葉)、スイカ(葉)、トウモロコシ(葉)

太字は被害が大きかった農作物。



食害されたキャベツ(上)とトマト(下)(2009. 8. 7, 笠間市折戸の菜園)。

食害されたネギ(上)とナス(下)(2009. 8. 7, 笠間市折戸の菜園)。

まとめ

茨城県内ではこれまでオカモノアラガイによる農作物への被害例は報告されているが(池澤ほか, 2008)、コハクオナジマイマイによる被害はそれよりも深刻である。今後、行政と協働した何らかの防除策が必要になってくるものと考えられる。

また、マダラコウラナメクジについても、今後の分布拡大による農業被害が懸念される。より詳細な本種の分布や農作物被害の実態の解明を急ぐとともに、早期の防除対策が必要になるものと考えられる。